

溝部 俊樹 監訳

周術期経食道心エコー図

——効率的に学ぶために

PERIOPERATIVE
TRANSESOPHAGEAL
ECHOCARDIOGRAPHY
Self-Assessment and Review

本書は Dr. Click, Dr. Cai, Dr. Abel のメイヨークリニックの3名の著者によって書かれている。Dr. Click, Dr. Abel は、TEE の分野でも著明な循環器内科医、心臓麻酔医であり、私も個人的によく存じ上げ、本邦の日本心臓血管麻酔学会でもたびたび講演をいただいている。特に Dr. Abel は、心臓麻酔の米国での創始者のひとりである Dr. Sait Tarhan の後任として長くメイヨークリニックの心臓麻酔 director をつとめている TEE の第一人者である。Dr. Cai は、そこで Fellow として活躍されている先生であり、本書はこのようにユニークな3名の執筆陣で書かれている。

また、訳者は京都府立医科大学麻酔科学教室の溝部先生を中心として、日本心臓血管麻酔学会での若手の精鋭陣で構成されている。溝部先生の在籍する京都滋賀地区では数年前より心臓外科の先生方とともに心臓麻酔研究会を立ち上げており、ブタの心臓の解剖を行う Wet Lab を導入するなど、TEE を基礎的な分野から学習する方法について取り組んでいる。

JB-POT 試験は、2004年に日本心臓血管麻酔学会の講師陣により立ち上げられ、現在は毎年500名近い受験者を迎えているが、合格率は50%に満たない。TEE 講習会は、日本心臓血管麻酔学会や日本麻酔科学会などで行われ、東京や大阪の2日性の講習会参加者も毎回600名近いが、ここ数年その合格率は上昇していない。TEE の習得のための教科書は最近多く発行されているが、TEE 試験や JB-POT などに向けての問題は公開されていないため、その受験をするための問題集はあまり存在しなかった。



- ・真興交易(株)医学出版部
- ・2011年10月25日 第1版第1刷発行
- ・A5判/444頁/並製本
- ・定価(本体12,000円+税)
- ・ISBN 978-4-88003-859-9

今回は試験側ではなく、受験する側からみた問題集が発刊された。TEE の研修や試験を受ける麻酔科医、循環器内科医、またそれに関連する領域の医療従事者には心強い著書である。

米国麻酔学会では心臓麻酔医だけではなく、一般の麻酔科医にも TEE の知識が必要ということで、Basic な TEE 試験も開始され、TEE は麻酔科医や集中治療医の必須知識の1つとして位置づけられている。

本書は基礎的なドプラーの原理から臨床の問題を包括しており、心臓麻酔専門医を目指す人だけではなく、麻酔専門医にも一読を勧める著書である。本書で、もし唯一足りないところをあげるとすると、エコーの動画問題が付随していないことである。TEE 試験は動画での出題があり速断性が要求される。この部分を日々の臨床で周知しておけば、本書が TEE の知識の整理や試験対策に有効なツールとなることは間違いない。

野村 実

(東京女子医科大学麻酔科学教室)